

1 重度心身障がい児者支援について

- (1) 磐田市内の重度心身障がい児者対象者数を伺う。障がい者の中で最もケアが求められる方々であるが、現在の福祉サービスの現状と課題を伺う。
- (2) 出産退院後の相談・支援体制は整備されているか。親が孤立しないためのサロン等もあるのか伺う。
- (3) 痰の吸引や呼吸器、経管栄養など親は昼夜問わず、全く休む時がない。市内でのショートステイ整備がずっと求められているが、現状と課題、対応を伺う。
- (4) 磐田駅北口の障がい者用乗降場を一般車両送迎スペースの方にも設置してほしいとの意見がある。対応について伺う。
- (5) 重度心身障がい児者の福祉避難所指定の方向性を伺う。空調、明かり、呼吸器などの電源等の備品や医療機関との連携、また、平常時の避難訓練が強く求められている。今後の予定を伺う。
- (6) 平成30年度制度充実の方向性があると聞いているが具体的に伺う。また、現行の市単の事業費補助金の概要と今後について伺う。
- (7) 地域生活拠点事業が求められている。今後の磐田市障害福祉計画にも位置付けられていくと思うが方向性を伺う。
- (8) 重度心身障がい児者の入所施設においては、福祉と医療の手厚い事業費が充当されている。在宅事業所においては、報酬単価は高く設定されているが、利用者の入院などで欠席すると報酬は入ってこない状況である。事業所によっては、年間の利用者の出席率が60%を割る月が6カ月位ある時もある。看護師やリハビリの職員などの専門職員の確保が必須であるため固定経費を市単独で対応する考えがあるか伺う。

2 就学前環境の現状と課題、更なる充実について

- (1) 就学前の年齢別（0～3歳）保育園・幼稚園・こども園の待機状況を伺う。
- (2) 新年度新たに加わる就学前の保育所（企業主導型保育所、小規模保育等含む）やこども園などの総数と事業所名、場所、児童定員枠の増数、それに伴う今後の待機解消見込みの状況と目標に対する進捗率を伺う。
- (3) 年間の保育園待機調整の現状と課題を伺う。なかなか入園できず母親が就労を諦めている実態がある。常時最新の民間の新設予定保育所情報や、各保育所、幼稚園、こども園の空き情報を把握し、保護者に提供できるコンシェルジュが必須である。今後開館する（仮称）子ども図書館に専任を置く考えはないか伺う。
- (4) 母親が就労しないで3歳まで子供を家庭で育てる環境も重要である。子育て環境の多様性は益々広がる中、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園へ通う保護者への利用料補助の考えを伺う。
- (5) いわた産業フェアが、毎年活性化している。保育士募集に特化したブースを設置してはどうか伺う。